

CONCEPT

其の一 **歴史を発く**

まちの発展の礎となってきた半田運河の歴史を紐解き、半田市民として誇りに思える活動や発信をするまちになりたい。



其の二 **産業を発く**

文化を軸とする企業活動・事業者活動に伴走するまちづくり支援があり、文化産業のまちとして発展するまちになりたい。



其の三 **人を発く**

学びや人との出会いがあり、文化をテーマとした活動家・起業家(文化起業家)が次々に生まれるような、伴走するまちづくりで発展するまちになりたい。



其の四 **暮らしを発く**

景観・環境・営み・生活など、他にないこの地ならではの魅力的な暮らしの風景が発信されるようなまちになりたい。



まちづくり共創プラットフォームとは

◎エリアをよりよくするために、多様な人がしてみたい活動や事業、暮らしなどを実現するためのまちづくりを、自ら参加して話し合い、共創していくオープンな会議体です。
◎中心市街地活性化協議会に事業の提案をすることもでき、より多くの「実現したい」を叶えていくための、共創のまちづくりの大切な土台です。

自分たちの「やりたい!」を叶えるまちづくり
活動したい人を応援
連携して活動を育てる
居心地よい環境づくり etc.



VISION

半田市

半田運河から発く

半田運河から発く

半田運河
HANDA CANAL

粕酢発祥の地であり、江戸時代に醸造・海運で栄えた尾州半田。大きな黒板囲いの蔵が立ち並んでいた半田運河エリアには歴史の面影を感じられる文化スポットが数多くあります。地域の歴史・文化・産業・伝統を大切に継承し活かしながら熱意溢れる人々が集まり、次々と新しい文化産業が醸しだされる…そんなまちづくりの未来図をみんなで熱く語り合い夢を描きました。みんなの夢をまっすぐに載せ、私たちのまちづくりが起航します。

発行 半田市
運営・編集 特定非営利活動法人半田市観光協会／一般社団法人はんだのたね
／未来図づくりワークショップにご参加いただいたみなさま
発行日 令和6年3月
TEL 0569-84-0634(半田市 市民経済部 産業課) MAIL sangyo@city.handa.lg.jp



半田市中心市街地活性化情報ページ

VISION

半田運河から発く
文化産業の湊

文化とは、歴史文脈をひもとき、その地域ならではの継続した何かを生み出す営み。半田らしさとは何かを問い続けることの先に生まれるコンテンツ。その発露から生まれる産業が文化産業。

VISIONへの想い



文化産業を軸にこの地から文化は発し文化圏を広げていく



みんなが描いた夢の未来図

半田運河エリア

HANDA CANAL AREA

PRIDE

半田市民が誇りに思うエリア

地域の人も観光客も困った人が頼れるまちの案内所がほしい！

伴走してくれる人がいるまちづくりの拠点をつくりたい

海外・全国からこの地の文化を感じに来るエリア

半田運河から発く文化産業の湊



文化交流が盛んなエリア
文化の集まりが育ちやすい！

週末はカフェやレストランで文化の集まりが行われている！

令和の朝市
半田の昔ながらの風景や朝市を令和版にアレンジして開催

お店が続々と出店
このお店に行ってみよう！という目的の地になるよう文化発信の担い手となる

美しい景観をつくるために電柱の地中化

JR半田駅がらみ導線強化

夜景とお酒が楽しめるスポットに！

半田発のすし文化をおいしく体験できる

夜景とお酒が楽しめるスポットに！

おすとおすの文化発信

橋の下に隠家的なスポットがある！

豪商邸宅を活かした文化発信拠点に

魅力的な蔵の活用がしたい！

発酵カフェ、発酵バーで食事を楽しみたい

お茶文化、喫茶文化を豊かに発信

魅力的な蔵の活用がしたい！

住宅エリアに住民にも配慮して住やすいまちに

半田らしいカルチャーが体験できるスポットが連続登場

目的の地となる文化的なお店が増えるといい

運河を眺めつつ通り過ぎるビューポイントがあるといい



※この未来図は、中心市街地をさらに魅力的にしたいという想いを持つ人たちが、未来のまちをイメージしたものです。必ずしも場所などを特定するものではありません。

マップの中にお蔵が10本隠れているよ。探してみよう。